



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 日鐵商事株式会社

コード番号 9810 URL <http://www.ns-net.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 今久保 哲大

問合せ先責任者 (役職名) 総務法務部 担当部長

(氏名) 岩崎 文夫

TEL 03-6225-3500

四半期報告書提出予定日 平成24年11月8日

配当支払開始予定日

平成24年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	518,121	△6.8	4,712	△18.7	4,780	△21.7	2,701	△22.6
24年3月期第2四半期	555,668	6.2	5,793	0.8	6,108	2.1	3,489	△0.4

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 2,375百万円 (△22.6%) 24年3月期第2四半期 3,068百万円 (18.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	20.09	—
24年3月期第2四半期	25.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	320,058		56,101			14.6
24年3月期	333,358		58,189			14.8

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 46,861百万円 24年3月期 49,250百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	—	3.00	—	4.00	7.00
25年3月期	—	4.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,070,000	△1.6	10,500	△2.3	10,500	△6.5	6,000	△12.7	44.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものです。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	134,801,000 株	24年3月期	134,801,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	313,557 株	24年3月期	309,291 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	134,489,649 株	24年3月期2Q	134,504,231 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

平成24年4月26日発表の連結業績予想を修正しております。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

なお、上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は平成24年11月21日(水)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する四半期決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、債務問題の長期化に伴う欧州景気の後退、米国の経済成長の伸び悩みに加え、中国、インド、ブラジルなど新興国経済も減速するなど、停滞感が強まりました。また、我が国経済は、エコカー補助金や公共投資の下支えにより内需は堅調であったものの、世界経済減速や円高により輸出が減少したことから、足踏み状態が続きました。

鋼材需要については、震災影響により低水準であった前年同期からは増加しました。国内の製造業向け需要は造船、電機が減少したものの、政策支援により自動車は好調に推移し、建設向けは公共投資により土木、建築ともに増加しました。輸出は、世界経済の減速やアジア地域での鋼材需給の緩和など厳しい環境が続きました。これらの結果、粗鋼生産は、前年同期比2.7%増の5,476万トンとなりました。

このような状況の下、当社グループの業績は、前年同期と比較し、売上高は375億円、6.8%減収となる5,181億円となりました。営業利益は10億80百万円、18.7%減益となる47億12百万円となりました。経常利益は、営業利益の減益に加え、持分法適用関連会社の減益もあり、13億27百万円、21.7%減益となる47億80百万円となりました。四半期純利益は7億87百万円、22.6%減益となる27億1百万円となりました。

報告セグメントの業績（セグメント利益は経常利益ベースの数値）は次のとおりであります。

（鋼材）

鋼材事業については、国内、海外ともに販売価格が需給緩和により下落したことから、単体の売上高は前年同期比減収となりましたが、販売数量では、国内、輸出向けともに、前年同期から増加しました。連結子会社は国内コイルセンターの統合効果や、米国、タイの海外子会社の増収などから、全体では増収となりました。これらにより売上高は133億円、3.0%の減収となる4,372億円、セグメント利益は2億21百万円、6.1%の減益となる34億15百万円となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、半成品を取り扱うセグメントを原燃料セグメントから鋼材セグメントへ変更しております。

（原燃料）

ステンレス屑などの取扱減や価格下落により、単体の売上高は前年同期比減収となり、世界経済の減速に伴う資源価格の下落や鉄鋼メーカーの生産減により、豪州における石炭権益を保有する子会社も減収となりました。これらにより、売上高は164億円、22.7%の減収となる558億円、セグメント利益は1億69百万円、16.8%の減益となる8億42百万円となりました。

（機材・産業機械）

機材については、新日鐵など鉄鋼メーカーの設備投資が引き続き抑制されたことから、単体の売上高は前年同期比減収となりました。

産業機械については、欧州景気の後退に伴いロシア向け建設機械、機械部品やパイプライン用鋼材などの輸出が減少し、建機関連事業を行うロシア子会社の売上高も減収となりました。

これらにより、売上高は77億円、23.7%の減収となる250億円、セグメント利益は9億36百万円、64.2%の減益となる5億21百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債、純資産の状況）

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、在庫の増加があったものの、売上高の減少に伴う売上債権の減少やリース債権の回収により、前期末比132億円の減少となる3,200億円となりました。

負債合計は、短期借入金の増加があったものの、仕入債務や貿易債権流動化債務の減少により、前期末比112億円の減少となる2,639億円となりました。

純資産合計は、当第2四半期連結累計期間での四半期純利益の計上があったものの、配当金支払や種類株式Bの取得・消却の実施により、前期末比20億円の減少となる561億円となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は前期末比14億円の減少となる182億円となりました。

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期利益による収入があったものの、売上債権の減少を上回る仕入債務の減少や法人税等の支払があり5億円の支出（前年同期は65億円の収入）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、中国華南地区子会社における固定資産の売却による収入などから6億円の収入（前年同期は8億円の支出）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加による収入があったものの、配当金の支払や種類株式Bの取得があり23億円の支出（前年同期は55億円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、世界経済の減速や長引く円高による輸出不振及び採算の悪化に加え、対中関係悪化による輸出の減少や鉄鋼需給の緩和による市況の下落などが懸念されることから、前回予想を修正しております。

平成24年4月26日に発表した業績予想に対する修正後の業績予想値は下記のとおりであります。

平成25年3月期通期の連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,180,000	12,500	12,500	7,500	55.77
今回修正予想 (B)	1,070,000	10,500	10,500	6,000	44.61
増減額 (B-A)	△110,000	△2,000	△2,000	△1,500	—
増減率 (%)	△9.3	△16.0	△16.0	△20.0	—

平成25年3月期通期の個別業績予想

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,050,000	9,000	5,700	42.37
今回修正予想 (B)	960,000	8,100	5,000	37.17
増減額 (B-A)	△90,000	△900	△700	—
増減率 (%)	△8.6	△10.0	△12.3	—

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる、損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,860	19,158
受取手形及び売掛金	227,531	219,440
リース債権及びリース投資資産	4,586	3,625
商品及び製品	28,125	29,782
その他	10,671	8,556
貸倒引当金	△480	△467
流動資産合計	291,293	280,096
固定資産		
有形固定資産	18,143	18,176
無形固定資産		
のれん	10	—
その他	1,534	1,331
無形固定資産合計	1,544	1,331
投資その他の資産		
その他	22,913	20,838
貸倒引当金	△538	△384
投資その他の資産合計	22,375	20,454
固定資産合計	42,064	39,961
資産合計	333,358	320,058

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	177,255	166,212
電子記録債務	7,044	7,806
短期借入金	52,205	54,703
貿易債権流動化債務	2,917	2,540
未払法人税等	2,451	1,938
引当金	1,056	864
その他	8,508	8,127
流動負債合計	251,439	242,193
固定負債		
長期借入金	15,000	15,000
貿易債権流動化債務	4,312	2,726
引当金	1,338	1,340
その他	3,078	2,698
固定負債合計	23,729	21,764
負債合計	275,169	263,957
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,750	8,750
資本剰余金	8,750	8,750
利益剰余金	35,560	33,695
自己株式	△72	△72
株主資本合計	52,988	51,122
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	341	△405
繰延ヘッジ損益	△46	50
為替換算調整勘定	△4,032	△3,906
その他の包括利益累計額合計	△3,737	△4,260
少数株主持分	8,938	9,239
純資産合計	58,189	56,101
負債純資産合計	333,358	320,058

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	555,668	518,121
売上原価	532,415	495,949
売上総利益	23,252	22,172
販売費及び一般管理費	17,458	17,459
営業利益	5,793	4,712
営業外収益		
受取利息	143	183
受取配当金	64	113
為替差益	67	9
持分法による投資利益	404	251
その他	391	248
営業外収益合計	1,072	806
営業外費用		
支払利息	597	577
その他	159	160
営業外費用合計	757	737
経常利益	6,108	4,780
特別利益		
負ののれん発生益	10	—
特別利益合計	10	—
特別損失		
投資有価証券評価損	199	385
ゴルフ会員権売却損	—	3
減損損失	75	—
特別損失合計	274	389
税金等調整前四半期純利益	5,843	4,391
法人税等	2,313	1,598
少数株主損益調整前四半期純利益	3,530	2,792
少数株主利益	41	91
四半期純利益	3,489	2,701

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,530	2,792
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△520	△745
繰延ヘッジ損益	82	97
為替換算調整勘定	123	294
持分法適用会社に対する持分相当額	△148	△64
その他の包括利益合計	△462	△417
四半期包括利益	3,068	2,375
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,061	2,178
少数株主に係る四半期包括利益	6	197

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,843	4,391
減価償却費	780	866
減損損失	75	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△48	△172
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△107	△183
受取利息及び受取配当金	△208	△297
支払利息	597	577
持分法による投資損益 (△は益)	△404	△251
ゴルフ会員権売却損益 (△は益)	—	3
負ののれん発生益	△10	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	199	385
売上債権の増減額 (△は増加)	1,903	9,419
たな卸資産の増減額 (△は増加)	4,163	△1,457
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△1,026	878
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,061	△10,726
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△855	△776
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	2,215	△1,299
その他	81	396
小計	10,138	1,755
利息及び配当金の受取額	302	420
利息の支払額	△600	△574
法人税等の支払額	△3,273	△2,145
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,567	△544
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△74	—
定期預金の払戻による収入	27	310
有形及び無形固定資産の取得による支出	△461	△592
有形及び無形固定資産の売却による収入	10	1,365
投資有価証券の取得による支出	△251	△435
投資有価証券の売却による収入	—	11
貸付けによる支出	△11	△9
貸付金の回収による収入	29	13
その他	△145	△45
投資活動によるキャッシュ・フロー	△877	618
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,804	2,360
長期借入金の返済による支出	△4,500	—
リース債務の返済による支出	△18	△33
自己株式の取得による支出	△4,000	△4,000
配当金の支払額	△729	△566
少数株主への配当金の支払額	△86	△67
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,531	△2,308
現金及び現金同等物に係る換算差額	△99	△29
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	59	△2,264
現金及び現金同等物の期首残高	20,305	19,621
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	850
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,364	18,206

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年6月29日付で自己株式（種類株式B）400千株を4,000百万円で取得し、同日これを全株消却いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において利益剰余金が4,000百万円減少しております。

なお、利益剰余金の当第2四半期連結累計期間の変動内容（要約）は以下のとおりであります。

	利益剰余金
平成24年3月31日 残高 (百万円)	35,560
当第2四半期連結累計期間中の変動額	
剰余金の配当	△566
四半期純利益	2,701
自己株式の消却	△4,000
当第2四半期連結累計期間中の変動額合計 (百万円)	△1,865
平成24年9月30日 残高 (百万円)	33,695

(6) セグメント情報等

I 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、国内及び海外において鋼材、原燃料、機材等の商品の販売を行っており、取り扱う商品の種類ごとに販売部門を置き、国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。従って、当社は取扱商品を基礎とした商品別のセグメントから構成されており、「鋼材」、「原燃料」、「機材・産業機械」の3つを報告セグメントとしております。

各セグメントの主な取扱商品は以下のとおりであります。

「鋼材」	H形鋼、形鋼、鉄筋用棒鋼、線材、軌条、厚中板、熱延薄板、冷延薄板、表面処理鋼板、ブリキ、電磁鋼板、鋼管杭、各種鋼管、鋼矢板、土木建材、建築建材、建築工事、特殊鋼、ステンレス、チタン製品、半成品
「原燃料」	石炭、鋼屑、合金鉄、製鉄・製鋼用副原料、石油、潤滑油、バンカーオイル、コークス、非鉄地金、ステンレス屑
「機材・産業機械」	製鉄機械、土木・鉱山用機械、その他産業機械、プラント用鋼材、電気通信計測機器、クレーン、機械部品、圧延ロール、OA機器

なお、平成24年4月1日付の組織再編に伴い、第1四半期連結会計期間より、半成品を取り扱うセグメントを「原燃料」から「鋼材」へと変更しております。

II 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント(注)1				調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	鋼材	原燃料	機材・ 産業機械	計		
売上高						
外部顧客への売上高	450,561	72,311	32,795	555,668	—	555,668
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	—	0	3	△3	—
計	450,564	72,311	32,795	555,671	△3	555,668
セグメント利益（経常利益）	3,636	1,012	1,457	6,106	1	6,108

(注) 1 平成24年4月1日付の組織再編に伴う取扱品種の変更後の報告セグメント区分に基づく金額であります。

2 セグメント利益の調整額1百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

III 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	鋼材	原燃料	機材・ 産業機械	計		
売上高						
外部顧客への売上高	437,223	55,886	25,011	518,121	—	518,121
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	—	—	2	△2	—
計	437,226	55,886	25,011	518,124	△2	518,121
セグメント利益（経常利益）	3,415	842	521	4,779	0	4,780

(注) 1 セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。